

目次

質問

質問

透過プロキシ モードと転送プロキシ モードにはどのような違いがありますか？

プロキシの目的は、HTTP クライアントと HTTP サーバの間の仲介役 (プロキシ) です。そのため、Web プロキシである Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA) は、クライアント要求ごとに次の 2 つのセットの TCP ソケットを持ちます。

クライアント -> WSA

WSA -> 元のサーバ

WSA HTTP プロキシがクライアントの要求をどのように取得するかは、次の 2 つのいずれか、つまり 透過的または明示的として定義できます。

それぞれの導入に、次のようないくつかの設定オプションがあります。

導入	方式	説明
トランスペアレント	レイヤ 4 スイッチ (PBR)	レイヤ 4 スイッチは宛先ポート 80 に基づいてリダイレクトされます。
トランスペアレント	WCCP	WCCP v2 対応デバイス (通常、ルータ、スイッチ、PIX、またはファイアウォール) は宛先ポート 80 をリダイレクトします。
トランスペアレント	ブリッジ モード	仮想的にペアになったデュアル NIC。1 つの NIC がトラフィックの入口で、もう 1 つが出口です (使用不可)。
明示的	ブラウザ設定	クライアント ブラウザは、プロキシを使用するように明示的に設定されます。
明示的	PAC ファイル設定	クライアント ブラウザは、PAC ファイルを使用し、そしてプロキシを使用するように明示的に設定されます。

WSA は、ブリッジ モード以外にはこれらのすべての導入を使用できます。近いうちに利用できるようになる見込みです。

要求が WSA に透過的にリダイレクトされているときには、クライアントはプロキシの存在を認識できないため、WSA は OCS (元のコンテンツ サーバ) のように動作をする必要があります。それとは反対に、要求が WSA に明示的に送信される場合、WSA はそれ自体の IP 情報を使用して応答します。

明示的なクライアント HTTP 要求と透過的なクライアント HTTP 要求の違いのいくつかを、以下に示します。

1. 明示的要求には、設定済みプロキシの宛先 IP アドレスが含まれます。透過的要求には、目的の Web サーバ (クライアントにより解決される DNS) の宛先 IP アドレスが含まれます。
2. 透過的要求の URI には、ホストのプロトコルが含まれません。

透過的	GET / HTTP/1.1
明示的	GET http://www.google.com/ HTTP/1.1

どちらにも、DNS ホストを指定する HTTP ホスト ヘッダーが含まれます。

WSA の設定

WSA は「透過」または「転送」用に設定できます。これは誤解を招くおそれがありますが、実際には「透過」または「明示」モードであり、**どちらも転送プロキシ導入**です。リバースプロキシでは、プロキシが HTTP サーバと同じネットワーク上にあることが想定されており、その目的はこれらの HTTP サーバのコンテンツを提供することです。

WSA での**透過モード**と**転送モード**の主な相違点は、WSA が透過モードでは透過的 HTTP 要求と明示的 HTTP 要求の両方に応答する一方、明示モードでは明示的 HTTP 要求のみに応答する点です。

WSA はそれ自体のクライアントとして機能するため、そのアップストリーム要求を常に透過スタイル要求として送信します。ただし、WSA が明示的アップストリームプロキシを使用するように設定されている場合は**除きます**。

透過的認証と明示的認証のもう 1 つの違いは次のとおりです。

透過的	401 - 認証が必要なときに WSA から送信されます。これは、OCS から送信されます。
明示的	407 - WSA から送信され、HTTP プロキシが認証を必要としていることをクライアントに通知し